

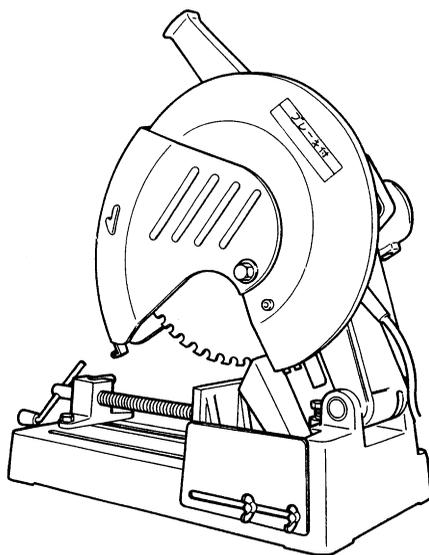
HiKOKI

チップソー切断機

305 mm CD 12F

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
チップソー切断機使用上のご注意	5
各部の名称	8
仕 様	9
標準付属品	9
別売部品	10
用 途	10
作業前の準備	11
ご使用前に	12
切断する前に	14
切断方法	16
チップソーの取付け・取りはずし	18
保守・点検	19
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」と「**⚠注意**」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「**注**」の意味も説明します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
 - 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⚠警告

- ①9 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ②0 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ②1 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ②2 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に"回"マークを表示しています。

純正品以外の部品と交換したり、間違っ組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換は、お買い求めの販売店に依頼してください。

チップソー切断機の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、チップソー切断機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① **本機は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、機体が破損したりし、けがの原因になります。
- ② **保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。**
保護カバーでチップソーをおおっていないと、けがの原因になります。
- ③ **チップソーは、外径 285 ～ 305 mm の範囲のものを使用してください。**
使用範囲からはずれたチップソーを使用すると、ソーカバーを切断したり、おおいが不完全となり、けがの原因になります。
- ④ **切り落とし直前や切断中に、材料の重みでチップソーがはさみつけれないように、切断する材料の受け台を設けてください。**
チップソーがはさみつられると、切り落された材料が飛散したり、けがの原因になります。
- ⑤ **使用中は、チップソーや回転部、および切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。
- ⑥ **材料切断後、チップソーが完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。**
材料切断後、チップソーを回転させたままハンドルを持ち上げると、強い反発力が生じたり、材料がチップソーに巻き込まれ飛散することがあり、けがの原因になります。
- ⑦ **本機は、金属切断用です。当社指定の金属切断用チップソーを使用してください。**
切断トイシ、木材用チップソーなどを使用しますと刃物が破損し、けがの原因になります。
- ⑧ **材料を切断するときは、引火しやすいもの、傷つきやすいものは、遠ざけてください。**
切り落とした材料、切りくずは高温になります。また、切断火花も発生します。切りくずなどを直接手足にあてますと、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑨ 切削油などを付けて切断しないでください。
切削油、切削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。
- ⑩ 材料は、本体付属のバイスで確実に固定してください。
材料の固定が不十分ですと材料が飛んだり、チップソーが破損してけがの原因になります。
- ⑪ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音・異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑫ 誤って落としたり、ぶつけたときは、チップソーや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑬ 作業中は必ず保護メガネをご使用ください。粉じんが出る場合はマスクもつけてください。
- ⑭ 騒騒音から耳を保護するため、耳栓を着用してください。

⚠注意

- ① 刃物類（チップソーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
チップソーが破損し、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、機体の振動やチップソーの面振れなどの異常がないことを確認してください。
異常があると思われ動きをして、けがの原因になります。
- ⑤ ブレーキが動くときの反発力に注意してください。
チップソー（モーター部）が下降したりし、けがの原因になります。

注意

- ⑥ 切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上に乗せ
たまま作業しないでください。
手を切ったり、コードを切断して、感電につながるおそれがあります。
- ⑦ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

各部の名称

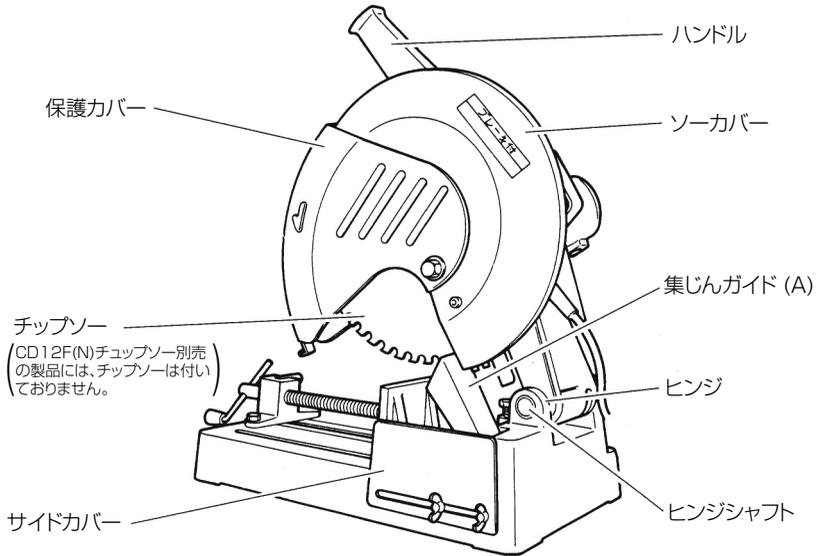


図 1

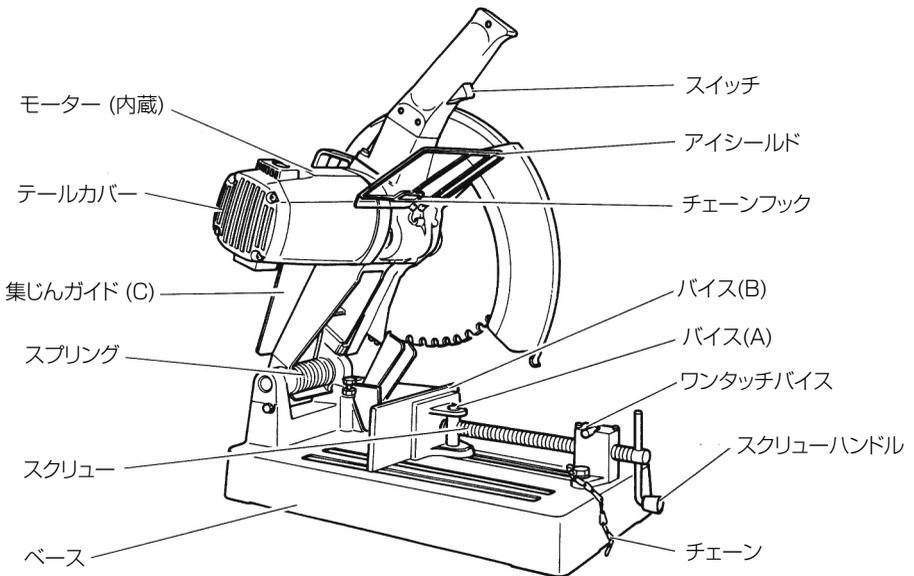
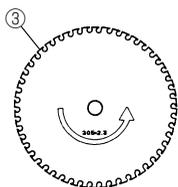
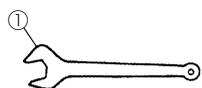


図 2

仕 様

項 目	CD 12F [チップソー付] CD 12F (N) [チップソー別売]	
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
全 負 荷 電 流	15 A	
モ ー タ ー	保護形単相直巻整流子モーター	
使 用 丸 の こ	外径 305 × 穴径 25.4 (mm)	
無 負 荷 回 転 数	1,400 min ⁻¹ { 回 / 分 }	
最大切断寸法	直角	パイプ外径…………… 115 mm
		角パイプ・形鋼…………… 125 mm × 75 mm (幅×高さ)…………… 100 mm × 100 mm
		丸棒外径…………… 32 mm
	45°	パイプ外径…………… 76 mm
		角パイプ・形鋼…………… 75 mm × 100 mm (幅×高さ)…………… 75 mm × 75 mm
		丸棒外径…………… 25 mm
角度切断範囲	直角～45°	
バイス最大開き	128 mm (バイス (B) 移動時 148 mm)	
質 量	チップソー付 19 kg チップソー別売 18 kg	
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 4 m	

標準付属品



- ① 17 mm スパナ…………… 1 個
- ② 保護メガネ…………… 1 個
- ③ 305 mm チップソー…………… 1 枚
軟鋼材用 (交互刃、刃数 60)

図 3

注 • CD 12F (N) チップソー別売の製品には、③ 305 mm チップソーは付属していません。別途当社指定の金属切断用チップソー、または最高使用回転数 2,000 min⁻¹ { 回 / 分 } 以上のチップソーをお求めください。

別売部品

……………（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

⚠注意

•別売部品をご使用の際も、保護メガネを着用してください。

305 mm チップソー

① 軟鋼材用（高低刃、刃数 50）

② 軟鋼材・ステンレス用（刃数 81）

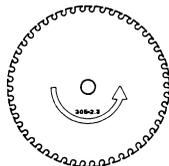
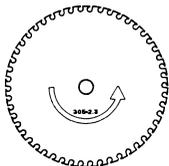


図 4

用 途

⚠警告

•ステンレス鋼・焼入鋼など用途以外の材料を切断しないでください。
チップソーが破損したり、けがの原因になります。

注 •ステンレス鋼の切断には、別売の軟鋼材・ステンレス用チップソーを使用してください。

- 軟鋼パイプ（水道管、鋼管、ビニールライニング管、塩ビ管など）の切断
- 軟鋼形鋼（アングル鋼、チャンネル鋼など）の切断
- 軟鋼丸棒の切断
- 軟鋼材・ステンレス用チップソーを使用しての、ステンレスパイプ、ステンレスアングルの切断

作業前の準備

ご使用前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認……………

この機体は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. すえ付け……………

傾斜のない平たんな場所へ、安定した状態にすえ付けてください。

3. 延長コード……………



警告

●延長コードは、損傷のないものを使用してください。

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

コードの太さ (導体公称断面積)	最大の長さ
1.25 mm ²	10 m
2 mm ²	15 m
3.5 mm ²	30 m

左表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

4. チェーンをはずす……………

工場出荷時にはチェーンで可動部を固定してありますので、ハンドルを下に押し、チェーンをチェーンフックからはずしてください。(図 1、2 参照)

5. 作業環境の整備・確認……………

作業する場所が 2 ページの「電動工具の安全上のご注意」の注意事項にかかげられているような、適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～6項については、電源プラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、チップソーや機体が破損する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

警告

- スイッチを引いた状態で、電源プラグを電源にさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

スイッチ（図2参照）を引くと入り、はなすと切れます。スイッチをはなしたときに戻ることを必ず確認してください。

3. チップソーの締付けを確かめる……………

チップソーの締付けを念のため確かめてください。詳しくは18ページ「チップソーの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

4. 保護カバーの確認……………

警告

- 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
保護カバーでチップソーをおおっていないと、けがの原因になります。

保護カバー（図1参照）は、身体がチップソーに触れる事故を防止するものです。また、切りくずの飛散を防止するものです。

従って、保護カバーが円滑に動かないまま使用したり、取りはずして使用するようなことは絶対にしないで下さい。必ず保護カバーがチップソーをおおうよう円滑に動くことを確認してください。

万一、保護カバーが円滑に動かない場合は、決してそのままお使いにならないでください。この場合、速やかにお買い上げの販売店にお問い合わせください。

5. ストップピンの確認……………

⚠警告

- 回転中は、ストップピンを押さないでください。また、ストップピンを押したまま（チップソー軸を固定した状態）でスイッチを入れないでください。

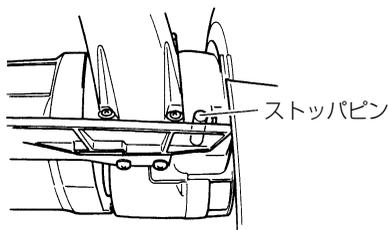


図 5

チップソーの取付け・取りはずしに使用するストップピンがはずれていることを確認してください。（図 5 参照）

6. チップソーの面振れ点検……………

チップソー軸を付属（図 3 参照）の 17 mm スパナでチップソー軸端面から見て時計方向へまわし、チップソーの面振れを点検してください。面振れが大きいと正確な切断ができなくなります。また、振動の原因になります。

この場合、速やかにお買い上げの販売店にお問い合わせください。

7. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

8. ブレーキがかかることを確かめる……………

⚠注意

- ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
チップソー（モーター部）が下降したりし、けがの原因になります。

本機はスイッチ（図 2 参照）を切ると同時にブレーキがかかる構造になっています。ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。万一正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

切断する前に

1. ワンタッチバイスの使い方……………

注 • グリップを倒そうとしても倒れない場合は、スクリーハンドルを少し回してください。

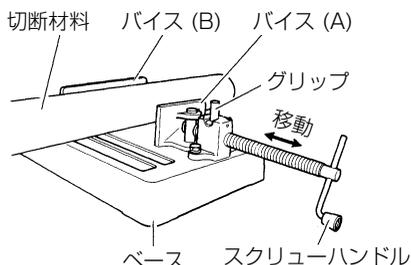


図 6

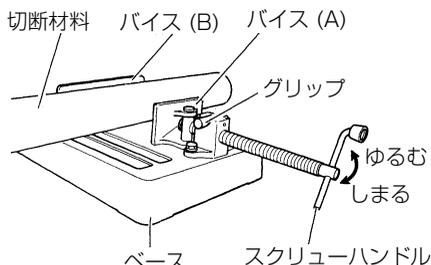


図 7

本機は、グリップを立てたり、倒したりすることにより、バイス (A) の早送りとネジ送りの切り替えができます。切断する材料に合わせて使い分けることにより能率よく作業できます。

- (1) グリップを立てた状態 (図 6 参照) の時、スクリーハンドルを押ししたり引いたりすればバイス (A) の早送りができます。
- (2) グリップを倒した状態 (図 7 参照) の時、スクリーハンドルを回せばバイス (A) のネジ送りができます。

2. 切断角度の調整……………

⚠ 注意

• 切断角度設定後、M10 ボルト (3 本) を確実に締付けてください。

締付けが不十分ですと切断時に、バイス (B) が動き切断精度が悪くなるばかりでなく、材料が飛んだり、チップソーが破壊してけがの原因になります。

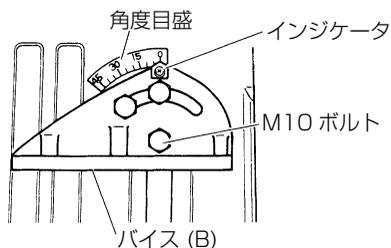


図 8

本機は 45 度までの角度切断ができます。付属の 17 mm スパナで M10 ボルト (3 本) をゆるめ、角度目盛にインジケータを合わせればバイス (B) の角度が設定できます。(図 8 参照)

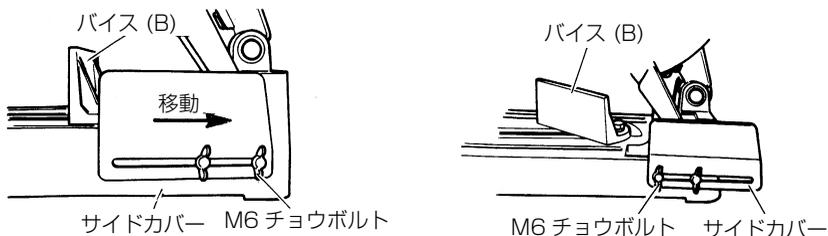


図 9

角度切断時、材料がサイドカバーに当たる場合があります。
M6 チョウボルト (2 本) をゆるめて、材料が当たらない位置までサイドカバーを移動してください。(図 9 参照)

3. バイスの開き幅を広げる方法……………

⚠注意

- バイス (B) 移動後、M10 ボルト (3 本) を確実に締付けてください。締付けが不十分ですと、切断時にバイス (B) が動き切断精度が悪くなるばかりでなく材料が飛んだり、チップソーが破損して、けがの原因になります。

注 • バイスの開き幅を大きくすると角度切断はできません。

工場出荷時、バイスの最大開き幅 (バイス (A)(B) の材料接触面の最大距離) は、128 mm にしてあります。

付属の 17 mm スパナで M10 ボルト (3 本) をはずし (図 8 参照)、バイス (B) を角度目盛 (図 8 参照) 側に移動し 0 目盛に合わせて取付けると、バイスの最大開きは、148 mm にできます。

切断方法

警告

- チップソーを回転させたまま材料の取付け、取りはずしをしないでください。材料がチップソーに巻き込まれて、飛散するなどけがの原因になります。

1. スイッチの操作……………

スイッチは引くと入り、はなすと切れます。

2. 材料の固定……………

警告

- 材料は、本体付属のバイスで確実に固定してください。材料の固定が不十分ですと材料が飛んだり、チップソーが破壊してけがの原因となります。

材料をバイス (B) 面に確実に突き当て、グリップを立てた状態でスクリューハンドルを押し、バイス (A) を材料に軽く押し当ててください。

次に、グリップを倒し、スクリューハンドルを回して材料を確実に固定してください。

(14 ページ「1. ワンタッチバイスの使い方」参照)

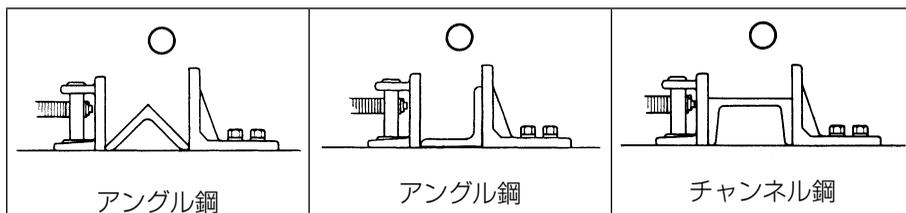


図 10

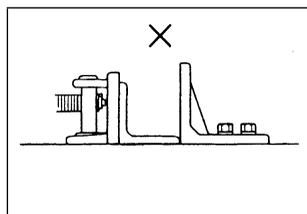


図 11

材料がアングル鋼、チャンネル鋼の場合は、必ず図 10 のように固定してください。

アングル鋼を図 11 のように固定しないでください。図 11 の状態で固定し、切断すると材料が動き、切断精度が悪くなる場合があります。

3. 切断作業……………

警告

- 作業中は必ず保護メガネを使用してください。粉じんが出る場合は、防じんマスクもつけてください。
- 騒音から耳を保護するため、耳栓を着用してください。
- 切断中、多少チップが欠けますが切断に支障がありません。そのままご使用ください。ただし、台金に割れが発生した場合は、ただちに使用を中止してください。
チップソーが破損し、けがの原因になります。
- 切り落とし側が薄い場合は、切断後、チップソーを回転させたままハンドルを持ち上げると、強い反発力が生じたり、切り落した材料がチップソーと接触して飛散することがあり、けがの原因になります。チップソーが完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。
また、1回の切断または切り込みが終わるごとに、スイッチを切ってチップソーの回転が停止したのを確認し、切り落した材料を取り除いてから、次の段取りをしてください。
- 材料を切断する時は、引火しやすいもの、傷付きやすいものは、遠ざけてください。
- 切り落した材料・切りくずは高温になりますので、素手でさわらないでください。
- 切削油などを付けて切断しないでください。切削油・切削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。
- 万一の事故を防止するため、作業後は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。

注意

- ハンドルを急激に押し下げてチップソーを材料に強く当てないでください。チップの欠けや、台金割れの原因になります。
- 万一、切断中にチップソーが停止した場合は、ただちにスイッチを切り材料からチップソーをはずしてください。
その後、無負荷運転を行い、異常のないことを確認してください。

- 注**
- 切り込み量が少なすぎますと火花が多くなり、チップ摩擦の原因となります。
 - 切り込む時、ハンドルに力を入れすぎても早く切れません。力を入れすぎるとむしろモーターに無理をかけ能率も悪くなります。

- (1) スイッチを入れチップソーの回転が完全に上がって安定してから、ハンドルを静かに下げて材料に近づけます。
- (2) チップソーが材料に接触したらハンドルを徐々に押し下げて切込みます。火花が一番少ない状態を目安に切り込んでください。

- (3) 切断が終わったところでスイッチを切り、チップソーの回転が完全に停止してからハンドルを持ち上げ、もとの位置にもどしてください。

4. チップ欠けについて……………

チップソーは切断回数とともにチップか欠けが発生します。小さな欠けは、その破面が切刃となってよい切れ味を保つ要因となります。

しかし、過負荷切断や衝撃切断などにより異常に大きく欠けた場合は、切れ味を低下させ、寿命低下の原因となりますので、切り方にご注意ください。

チップソーの取付け・取りはずし

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。
- ボルトがゆるまないよう確実に締付けてください。
なお、電源プラグを電源にさし込む前にボルトが確実に締付けられていることを確認してください。
- 連続して切断した後、チップソーを取りはずす場合、チップソーが熱くなっていることがありますので注意してください。

⚠ 注意

- チップソーにヒビ、割れなど異常がないことを確認してから使用してください。
- 保護カバーの矢印とチップソーの回転方向のマークが同じ向きになるように、チップソーを取付けてください。
- チップソーの取付け・取りはずしに使用したストップピンが元の位置に戻っていることを確認してください。

1. チップソーの取付け……………

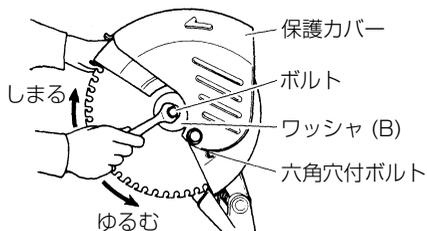


図 12

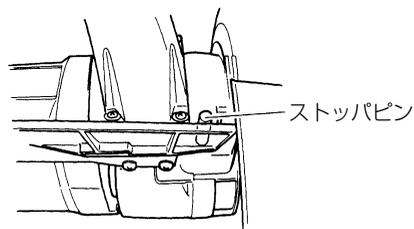


図 13

- (1) 保護カバーを六角穴付ボルトに当たるまで持ち上げます。(図 12 参照)

- (2) ストップピンを手で押し（図 13 参照）ながらボルトに 17 mm スパナをかけ、ゆっくりと回転させ、ストップピンが下がったら、チップソー軸が固定されたこととなります。この状態で図 12 のゆるむ方向（左回転）に 17 mm スパナを回せばボルトがゆるみます。
- (3) ボルト、ワッシャ (B) を取りはずします。
- (4) チップソーを取付けます。（当社指定の金属切断用チップソー、または最高使用回転数 $2,000 \text{ min}^{-1}$ {回/分} 以上のチップソーを取付けてください。）
- (5) ワッシャ (B)、ボルトに付いている切りくず、ゴミなどを除去し、チップソー取付け軸に取付けてください。
- (6) ストップピンを押し、ボルトに 17 mm スパナをかけて図 12 のしまる方向（右回転）に回せばボルトが締まります。

4. チップソーの取りはずし……………

チップソーの取付けの項の要領で、チップソーを取りはずしてください。

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. チップソーの交換……………

⚠ 注意

- 切れ味の悪くなったチップソーを無理して使いますと、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。切れ味の低下したチップソーをそのまま使いにならないでください。

チップソーの切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておきますとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2. カーボンブラシの点検……………

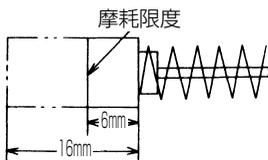


図 14

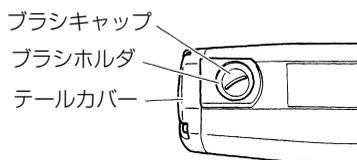


図 15

モーター部(図2参照)には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなるとモーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(6mmぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシは、ゴミなどを取り除いてきれいにしてブラシホルダー内で円滑に滑るようにしてください。(図14、15参照)

注 •新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。指定外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ(図15参照)を外しますと、取り出せます。

3. モーターの取扱いについて……………

モーター(内蔵)(図2参照)に、油や水が侵入しないよう十分注意してください。

注 •モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をテールカバー(図2参照)の風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。

4. 機体の点検……………

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

5. 保護カバーの動作点検と保守……………

保護カバー(図1参照)は、いつも円滑に動作するようにしておいてください。なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

6. 注油……………

本機を長持ちさせるため、月一度の割で注油箇所に注油してください。(図1、2参照)(油はマシン油が適当です。)

注油箇所

- ヒンジの回転部
- バイス(A)のスライド部
- バイスのスクリュウ部
- ワンタッチバイス部
- スプリング
- 保護カバー取付け部

6. 清掃……

機体に付いている切りくずや、ごみを布などで拭き取ってください。
モーター（内蔵）（図 2 参照）は水や油でぬらさないようにしてください。

7. 機体や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|--|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所○ 温度が急変する場所○ 直射日光の当たる場所○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|--|---|---------------------|

メ 毛

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>